

命を守り
命を育む
学校

第12号
令和3年12月6日
児童数862名

ひとり たいせつ なふだ うわぐつ 一人ひとりを大切にする名札と上靴

みなさん、^{いま}今、^{なふだ}名札をつけていますか。学校では、^{がっこう}名札をつ

けることに決めています。^{なふだ}ではなぜ、^わ名札をつけるのでしょうか。わかりますか。

まず、^{こうちょう}校長先生は、^{ちょうれい}朝礼で「^{なまえ}名前をつけてあいさつをしま

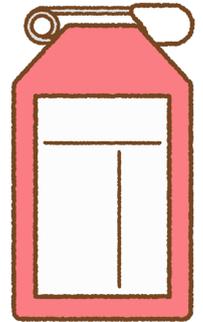
しょう！」と何度かお話をしました。^{あいて}相手の名前を知るため
には、^{なふだ}名札を見るとよりわかります。^{なまえ}名前が分かると、名前

をつけてあいさつができるようになります。
^{おな}同じ学年の人の名前は、^{おぼ}もう覚えましたか。それから、^{ちか}近くの学年の人
の名前も覚えましたか。^{がっこう}この学校は自分をのぞいて861人の子ども達が
います。ぜひ、^{なまえ}みんなの名前を覚えてみましょう！

^{つぎ}次に、^{あいて}相手の名前を呼んであいさつをするということは、「^{おな}〇〇さん
今日も学校にいますね。」と相手のことを認めていることになるので
す。^{なまえ}名前をつけて、^{ひと}あいさつをされると、人はとても大切にされている
と感じるそうです。だから^{なふだ}名札をつけています。

^{さら}更に、^{てん}そういう点では、^{うわぐつ}上靴に名前を書くことも同じです。^{おな}低学年の子
ども達は、^{こうがくねん}高学年の名札が見えないこともあります。しかし、^{うわぐつ}上靴の
^{なまえ}名前は見るができますので、^わきちんと分かるように名前を書いてお

きましょう。
このように、^{なふだ}名札をつけたり、^{うわぐつ}上靴に名前を書いたりすることは、
^{あいて}相手からも大切にされる ^{たいせつ}ことにつながります。言いかえる
と『^{ひとり}一人ひとりを大切にする』^{たいせつ}ことにつながります。そして
「^{いのち}命を守り^{まも}命を育む^{はぐ}学校」^{がっこう}になると考えています。
^{がっきゅう}さあ学級の人の名前を覚えたら校長先生に声をかけてくだ
さい。そして^{ほか}他の学級の人の名前を覚えることにも^{おぼ}挑戦してください。



^{まめちしき}(豆知識) ^{どうと}人は一人ひとりがかけがえのない尊いものであるということから、いかな
る場合にも^{ばあい}キズつけたり、^{じんけん}むししたりしてはならないものを人権と考えました。